

お楽しみ盛りだくさん！ 「いいいてにぎわい夏祭り」



商工会のスタッフが一致協力して夏祭りを盛り上げました。笑顔があふれた大抽選会のひとこま

8月9日、「いいいて村の道の駅までい館」で、飯館村商工会主催の「いいいてにぎわい夏祭り」が開かれました。当日は、時折雨の降るあいにくの空模様で、新型コロナ対策を講じながらの開催となりましたが、来場者はなんと約700人。会場には、お祭り気分が盛り上がる各種屋台も並びました。特設ステージでも、人気お笑いコンビ「母心」などによるお笑いステージ、山木屋太鼓の迫力の演奏、フラダンス、「かき氷早食い大会」などが続き、大勢の来場者が楽しみました。

「道の日」に合わせて 村内関連企業が道路美化活動



2班に分かれ、道の駅と二枚橋地区を起点に、手作業でゴミ拾い。写真は二枚橋地区の作業の様子

「道路ふれあい月間」と、8月10日の「道の日」に合わせて、毎年この時期に、各地で道路の美化活動が行われています。村では、8月7日に、相双建設事務所と地元企業、村の関連部署などが協力して、県道原町川俣線で、美化活動を実施しました。

当日は、約30人が活動に参加。交流センター「ふれ愛館」前で出発式を行い、路上のゴミ拾いなどを行いました。連休を前に、往來が増加する県道沿いを、きれいにさせていただきました。

グラウンド・ゴルフで いきいきスポーツ交流会



表彰式の後の記念撮影のひとこま。交流を楽しむいきいきとした笑顔が並びました

8月23日、「いいいてスポーツ公園」で、村・飯館村老人クラブ連合会・飯館村社会福祉協議会・いいいてスポーツクラブが、第9回「村民グラウンド・ゴルフスポーツ交流会（第17回飯館村老人クラブ連合会グラウンド・ゴルフ大会）」を開催。約80人が参加し、夏日の中、腕を競い合いました。休憩時には、かき氷が振舞われ、参加者が涼を取りながら交流を深めました。今回の優勝者は、男子の部が齋藤政行さん（前田）、女子の部が飯樋アサ子さん（上飯樋）でした。

「座右の銘」の石碑 新たな8基のお披露目式



石碑は応募者負担で設置されています。事業に共感し応募した設置者に、菅野村長が感謝を伝えました

村では、大切にしている言葉「座右の銘」を募集し、石碑に刻むプロジェクトを行っています。このたび新たに8基の石碑が完成し、8月7日にお披露目式を行いました。「座右の銘」は、村特産のみかげ石に刻まれ、「いいいて村の道の駅までい館」の遊歩道に設置されています。「人生は すてきな 勘違い」「Do Better! 日々精進」など、新たな8基にもそれぞれ印象深い言葉が刻まれました。菅野村長があいさつし、「人生の教訓に会い、思いを重ねる場所になる」と、新名所に大きな期待を寄せました。

第6次総合振興計画策定へ 審議会の答申が行われました



大越会長（右）は、策定にかかる留意点や重点事業の早期実現など審議の内容を伝え答申しました

8月25日、「飯館村振興計画審議会」が、答申を行いました。審議会は、「第6次総合振興計画策定委員会」がまとめた計画案について、2度にわたる会議で審議を行いました。計画案は、策定委員会が、テーマ別の4つの部会の検討を元に、熱心な議論を繰り返してまとめたものです。

審議会の大越憲一会長（深谷）は、菅野村長に対し、審議の内容を伝え「異議なし」の答申を行いました。菅野村長は、関係者の尽力に感謝を伝え、答申書を受け取りました。

「ふかや風の子広場」が完成 竣工式を行いました



屋内運動施設「ひみつ基地どきどき」の前で、関係者がテープカットを行い、竣工を祝いました

深谷地区に「ふかや風の子広場」が完成し、8月8日、国や県、地権者代表などを招いて、竣工式を行いました。式では菅野村長が、「国をはじめ、多くの方々の支援、地権者の理解があって、事業を進めることができました。たくさんのお親子に楽しんでほしい」と感謝を述べました。また、世界で活躍する彫刻家・重岡建治さんが制作した彫刻「ブロンズと遊ぶ」の除幕も行われ、重岡さんが「作品がこの場所で生きていく。飯館は第二のふるさとです」とあいさつしました。広場は、翌9日から、本格オープンしています。